



DELL UNITY XT HFAおよび AFAストレージ

Dell Unity XTストレージ アレイは、パフォーマンスを重視して設計され、効率性を高めるように最適化され、マルチクラウドへの移行をシンプルにするように構築されているため、これを使用することで、ITトランスフォーメーションへの道筋がシンプルになり、データ資本の可能性を最大限に引き出すことができます。Unity XTアレイは、これまでのDell Unityモデルと比較して、IOPSはHFAとAFA共に最大2倍となり、メモリーの容量が増え、ドライブは最大で50%増となっています。これらのコストパフォーマンスに優れたストレージ システムには、デュアル アクティブ コントローラーが搭載されており、包括的なエンタープライズ クラス ソフトウェアを豊富に備えています。Unity XT AFAは、将来を見据えて3:1のデータ削減率を保証しています。一方でUnity XT HFAは、NVMeアーキテクチャの速度と低レイテンシーを必要としないワークロードに最適です。

アーキテクチャ

Unity XTストレージ システムは、ブロック、ファイル、VMware vVols向けの統合ユニファイド アーキテクチャを実装し、ネイティブのNAS、iSCSI、Fibre Channelの各プロトコルを同時にサポートします。各システムは、デュアルアクティブ ストレージ プロセッサ(SP)、完全な12Gb SASバックエンド接続、Dellの特許取得済みマルチコア設計操作環境を活用して、マルチクラウドの相互運用性によって圧倒的なパフォーマンスと効率性を実現します。追加のストレージ容量は、DAE（ディスク アレイ エンクロージャ）を介して増設されます。

物理仕様

	380F/380	480F/480	680F/680	880F/880
ドライブの最小数/最大数	最小SSD x 6またはHDD x 10/最大500	最小SSD x 6またはHDD x 10/最大750	最小SSD x 6またはHDD x 10/最大1000	最小SSD x 6またはHDD x 10/最大1500
アレイ エンクロージャ	2U Disk Processor Enclosure (DPE)に25台の2.5インチ ドライブを搭載			
ドライブ エンクロージャ (DAE - ディスク アレイ エンクロージャ)	オールフラッシュ(F)モデルで、2U 25ドライブ トレイと3U 80ドライブ トレイの2.5インチ ドライブをサポートします。ハイブリッド モデルで、2U 25ドライブ トレイと3U 80ドライブ トレイの2.5インチ ドライブ、3U 15ドライブ トレイの3.5インチ ドライブをサポートします。			
スタンバイ電源システム	Dell Unityシステムには、DPE/DAEごとに2個の電源装置(PSU)から電力が供給されます。片方のPSUが取り外されるか障害が発生した場合でも、もう片方のPSUがモジュール全体に電力を供給できます。電源に障害が発生したときのDPEの電源は、バッテリーバックアップ(BBU)モジュールによって提供されます。BBUはSPエンクロージャ内にあり、単一のモジュール（電源領域）に電力を供給します。			
RAIDオプション	1/0、5、6			
アレイあたりのCPU	インテルCPU x 2、アレイあたり12コア、1.7GHz	デュアル ソケット インテルCPU x 2、アレイあたり32コア、1.8GHz	デュアル ソケット インテルCPU x 2、アレイあたり48コア、2.1GHz	デュアル ソケット インテルCPU x 2、アレイあたり64コア、2.1GHz
アレイあたりのシステム メモリー/ キャッシュ	128 GB	192 GB	384 GB	768 GB

	380F/380	480F/480	680F/680	880F/880
アレイあたりの最大FASTキャッシュ*	最大800 GB	最大1.2 TB	最大3.2 TB	最大6.0 TB
合計キャッシュサイズ ^A	最大928 GB	最大1.39 TB	最大3.58 TB	最大6.76 TB
アレイあたりの最大メザニンカード数 ^B	NA	2	2	2
アレイあたりの最大IOモジュール数 ^C	4	4	4	4
アレイあたりの内蔵SAS IOポート数	4レーン12 Gb/秒SASポート x 4、BE（バックエンド）接続用	4レーン12 Gb/秒SASポート x 4、BE接続用	4レーン12 Gb/秒SASポート x 4、BE接続用	4レーン12 Gb/秒SASポート x 4、BE接続用
オプションのSAS IOポート（アレイ単位）	NA	4レーン12 Gb/秒SASポート x 8または8レーン12 Gb/秒SASポート x 4、BE接続用	4レーン12 Gb/秒SASポート x 8または8レーン12 Gb/秒SASポート x 4、BE接続用	4レーン12 Gb/秒SASポート x 8または8レーン12 Gb/秒SASポート x 4、BE接続用
12 Gb/秒SAS BEバス基本数（アレイ単位）	2 x 4レーン	2 x 4レーン	2 x 4レーン	2 x 4レーン
12 Gb/秒SAS BEバス最大数（アレイ単位）	2 x 4レーン	4レーン x 6または4レーン x 2 + 8レーン x 2	4レーン x 6または4レーン x 2 + 8レーン x 2	4レーン x 6または4レーン x 2 + 8レーン x 2
FE（フロントエンド）の最大総ポート数（すべてのタイプ）（アレイ単位）	20	24	24	24
イニシエータの最大数（アレイ単位）	1,024	2,048	2,048	4,096
アレイあたりの最大FCポート数	20	16	16	16
組み込み10GbaseTポート数（アレイ単位）	NA	NA	NA	NA
組み込みCNAポート数（アレイあたり）	4ポート：8/16 Gb FC ^D 、10Gb IP/iSCSI、または1Gb RJ45	NA	NA	NA
1 Gbase-T/iSCSI最大総ポート数（アレイ単位）	20	24	24	24
10/25 GbE/iSCSI最大総ポート数（アレイ単位）	20：10GbE 16：25GbE	24	24	24
最大raw容量 ^E	2.4 PB	4.0 PB	8.0 PB	16.0 PB
最大SANホスト数	512	1,024	1,024	2,048
最大プール数	20	30	40	100
LUNの最大数（アレイ単位）	1,000	1,500	2,000	6,000
最大LUNサイズ	256 TB	256 TB	256 TB	256 TB

	380F/380	480F/480	680F/680	880F/880
アレイあたりのファイル システムの最大数	1000	1500	2000	4000
最大ファイル システム サイズ	256 TB	256 TB	256 TB	256 TB
アレイ (ブロック) あたりの最大接続スナップショット数	1000	1500	2000	6000
IOPS ^F (オールフラッシュ モデル380F~880F)	最大600,000	最大1,680,000	最大2,360,000	最大2,560,000
対応OS	Dell Simple Support Matrix (dell.com)を参照			
^A ハイブリッド アレイに固有。 ^B SP (ストレージ プロセッサ) あたり1つのメザニン カード (ミラーリング)。 ^C SP (ストレージ プロセッサ) あたり2つのIOモジュール (ミラーリング)。 ^D シングル モードとマルチモードのどちらでも16Gb使用可能。 ^E 最大raw容量は、購入時点で利用可能なドライブ サイズによって異なります。 ^F 100%シーケンシャルな読み取り、ブロック長4K、シックLUN。社内テスト (2019年6月) に基づきます。結果にはばらつきが出る可能性があります。				

接続

NFS/SMB接続のファイル ストレージと、FCとiSCSIホスト接続のブロック ストレージの両方で、メザニン カードとIOモジュール経由の接続オプションを利用できます (SPあたりのサポート可能なモジュール数については前述の表を参照)。

接続オプション		
タイプ	説明	詳細
メザニン カードまたはIOモジュール	4ポート10Gbase-Tモジュール (ファイルとブロック)	4ポート10Gbase-T Ethernet IP/iSCSIモジュール。4つの10Gbase-T EthernetポートでEthernetスイッチに銅線接続
メザニン カードまたはIOモジュール	4ポート10 Gb/秒の光モジュール (ファイルとブロック)	4ポート10GbEのIP/iSCSIモジュール。EthernetスイッチへのSFP+光接続か、アクティブ/パッシブTwinax銅線接続を選択
メザニン カードまたはIOモジュール	4ポート25 Gb/秒の光モジュール (ファイルとブロック)	4ポート10GbEのIP/iSCSIモジュール。EthernetスイッチへのSFP+光接続か、パッシブTwinax銅線接続を選択
IOモジュール	4ポート32 Gb/秒ファイバ チャンネル モジュール (ブロック専用)	4/8/16 Gb/秒または8/16/32 Gb/秒対応のオート ネゴシエーションを行う4つのポートを持つ4ポートFCモジュール、シングル モードとマルチモードの光 SFPおよびOM2/OM3/OM4ケーブルを使用してホストHBAまたはFCスイッチに直接接続
IOモジュール	4ポート12 Gb/秒SAS V3.0モジュール*	ストレージ プロセッサへのバックエンドストレージ (DAE) 接続用4ポート SASモジュール。各SASポートはポートあたり4レーン12 Gb/秒 (公称スループット48 Gb/秒を実現)。特に80ドライブDAEにも対応可能で、1対のSASポートを利用した8レーンの接続性により高パフォーマンスの広帯域幅を実現。
* 480F/480、680F/680、880F/880モデルの場合		

最大ケーブル長

ショートウェーブ光OM4：125 m（16 Gb）、190 m（8 Gb）、400 m（4 Gb）、500 m（2 Gb）

バックエンド（ドライブ）接続

各ストレージ プロセッサは、4レーン x 12 Gb/秒SAS（シリアル接続SCSI）バスの2つの冗長ペアそれぞれの片側に接続され、ストレージ プロセッサやバスの障害発生時にホストに対する継続的なドライブ アクセスを提供します。すべてのモデルには4台の「システム」ドライブが必要です。サポートされるディスク最大数はプラットフォームによって異なります（前述の「物理仕様」の表を参照）。Dell Unity XT 380モデルではシステムドライブあたり107 GB、Dell Unity XT 480、680、880モデルではシステムドライブあたり150 GBが、操作環境ソフトウェアとデータ構造によって使用されます。

ディスク アレイ エンクロージャ（DAE）

	2.5インチ ドライブDAE x 25	2.5インチ ドライブDAE x 80	3.5インチ ドライブDAE x 15 (ハイブリッド アレイのみ)
サポート対象のドライブ タイプ	フラッシュ/SAS	フラッシュ/SAS	NL-SAS
コントローラー インターフェイス	12 Gb SAS	12 Gb SAS	12 Gb SAS

サポート対象メディア

システムカテゴリー	タイプ	用途/目的	標準容量	フォーマット済み容量*	インターフェイス	DPE 25ドライブ	2.5インチ ドライブ DAE x 25	2.5インチ ドライブ DAE x 80	3.5インチ ドライブ DAE x 15
オールフラッシュ	SSD (SAS)	オールフラッシュ	800 GB	733.5 GB	12 Gb SAS	✓	✓	✓	
オールフラッシュ	SSD (SAS)	オールフラッシュ	1.92 TB	1751.9 GB	12 Gb SAS	✓	✓	✓	
オールフラッシュ	SSD (SAS)	オールフラッシュ	3.84 TB	3503.9 GB	12 Gb SAS	✓	✓	✓	
オールフラッシュ	SSD (SAS)	オールフラッシュ	7.68 TB	7006.9 GB	12 Gb SAS	✓	✓	✓	
オールフラッシュ	SSD (SAS)	オールフラッシュ	15.36 TB	14014.9 GB	12 Gb SAS	✓	✓	✓	
ハイブリッド	SSD (SAS)	FASTキャッシュおよび混在プール	400 GB	366.7 GB	12 Gb SAS	✓	✓	✓	
ハイブリッド	SSD (SAS)	混在プール	800 GB	733.5 GB	12 Gb SAS	✓	✓	✓	
ハイブリッド	SSD (SAS)	混在プール	1.6 TB	1467.45 GB	12 Gb SAS	✓	✓	✓	
ハイブリッド	SSD (SAS)	混在プール	3.2 TB	2919.9 GB	12 Gb SAS	✓	✓	✓	
ハイブリッド	SSD (SAS)	オールフラッシュ	7.68 TB	7006.9 GB	12 Gb SAS	✓	✓	✓	

ハイブリッド	10K HDD (SAS)	混在プール	600 GB	536.7 GB	12 Gb SAS	✓	✓	✓	
ハイブリッド	10K HDD (SAS)	混在プール	1.2 TB	1100.5 GB	12 Gb SAS	✓	✓	✓	
ハイブリッド	10K HDD (SAS)	混在プール	1.8 TB	1650.8 GB	12 Gb SAS	✓	✓	✓	
ハイブリッド	7.2K HDD (NL-SAS)	混在プール	4.0 TB	3668.6 GB	12 Gb SAS				✓
ハイブリッド	7.2K HDD (NL-SAS)	混在プール	6.0 TB	5505.0 GB	12 Gb SAS				✓
ハイブリッド	7.2K HDD (NL-SAS)	混在プール	12.0 TB	10948.7 GB	12 Gb SAS				✓

*GB = Base2 GiB (GiB = 1024 x 1024 x 1024)
すべてのドライブが520バイト/セクターです。
すべてのドライブが非SEDです。静止データ暗号化はストレージコントローラー経由で行われます。

Dell Unity OEプロトコルおよびソフトウェア機能

さまざまなソフトウェアスイート、プラグイン、ドライバー、バックで使用できる多種多様なプロトコルと高度な機能をサポートしています。

サポート対象のプロトコルおよび機能

SMBプロトコル対応ABE (Access Base Enumeration)	アドレス解決プロトコル (ARP)	ブロックプロトコル : iSCSI、Fibre Channel (FCP SCSI-3)
コンテナストレージインターフェイス (CSI) ドライバー	自己管理の暗号化キー付きのコントローラーベースのD@RE (静止データ暗号化)	リーフノードまたはスタンドアロンルートサーバーとしてのDFS分散ファイルシステム (Microsoft)
Fibre ChannelとiSCSIの直接ホスト接続	DAC (動的アクセス制御)、Claims Supportあり	FSN (Fail Safe Networking)
ICMP (Internet Control Message Protocol)	Kerberos認証	KMIP (Key Management Interoperability Protocol) 準拠のD@RE向け外部キーマネージャ
LDAP (Lightweight Directory Access Protocol)	LDAP SSL	ファイルアクセス用のリンク統合 (IEEE 802.3ad)
NLM (Network Lock Manager) v1、v2、v3、v4	管理およびデータ用ポート (IPv4および/またはIPv6)	UNIX/SMBクライアント (Microsoft、Apple、Samba) 対応NASサーバーマルチプロトコル
NDMP (Network Data Management Protocol) V1~V4、2方向と3方向	NIS (Network Information Service) クライアント	NSM (Network Status Monitor) V1 NSM (Network Status Monitor) V1
NTP (Network Time Protocol) クライアント	NFS v3/v4セキュアサポート	NTP (Network Time Protocol) クライアント
Portmapper V2	REST API : HTTPリクエストを使用した管理を可能にするオープンAPI	RoHS (特定有害物質使用制限) 準拠
Microsoft Hyper-V対応RSVD v1	SMBプロトコル対応シンプルホームディレクトリーアクセス	SMI-S v1.6.1対応Dell Unityブロックおよびファイルのクライアント
SMTP (Simple Mail Transfer Protocol)	SNMP (Simple Network Management Protocol) v2cおよびv3	仮想LAN (IEEE 802.1q)
VMware® Virtual Volumes (vVols) 2.0	VMware® vRealize™ Orchestrator (vRO) プラグイン	

セキュリティとコンプライアンス (Dell UnityVSAを除くすべてのDell Unity XTシステムに適用)

国防総省情報ネットワーク認定製品リスト(DODIN APL) : Dell Unity O.E.v5.2が登録済み

共通の基準

自己管理の暗号化キー付きのコントローラベースのD@RE (静止データ暗号化)

KMIP準拠のD@RE向け外部キー マネージャ

FIPS 140-2レベル1の妥当性検査

IPv6とデュアル スタック (IPv4) 動作モード

ネイティブSHA2証明書

セキュリティ技術導入ガイド/セキュリティ要件ガイド (STIG/SRG)

TLS 1.2のサポートとTLS 1.0/1.1の無効化

ファイル レベル保存期間設定 : FLR-E (Enterprise) とFLR-C (Compliance) 。SEC Rule 17a-4 (f) の要件に準拠

ソフトウェア

オールインワン ベース ソフトウェア

管理ソフトウェア :

- Unisphere : エlement マネージャ
- Unisphere Central : 統合ダッシュボードおよびアラート
- CloudIQ : クラウドベースのストレージ分析
- シン プロビジョニング
- すべてのUnity XTプラットフォームでDynamic Poolをサポート
- インライン データ削減 : すべてのUnity XTプラットフォームでゼロ検出/重複排除/圧縮をサポート
- ホストグループ
- プロアクティブ アシスト : リモート サポートやオンライン チャットの設定、サービス リクエストのオープンなど
- サービス品質 (QoS) (ブロックとvVols)
- Dell Storage Analytics Adapter for VMware® vRealize™
- パブリック/プライベート クラウドのファイルとブロック階層化/アーカイブ(Cloud Tiering Appliance)
- ファイル レベル保存期間設定 (FLR-EおよびFLR-C)

ユニファイド プロトコル :

- ファイル
- ブロック
- vVols

ローカル保護 :

- 自己管理または外部の鍵管理によるコントローラベースの暗号化 (オプション)
- ローカルのポイントインタイム コピー (スナップショットとシン クローン)
- AppSync Basic
- Dell Common Event Enabler、AntiVirus Agent、Event Publishing Agent

リモート保護 :

- ネイティブ非同期ブロックおよびファイル レプリケーション
- ネイティブ同期ブロックおよびファイル レプリケーション
- MetroSync Manager (同期ファイル レプリケーション セッションのフェールオーバーを自動化するオプションのソフトウェア)
- Snapshot Shipping
- Dell RecoverPoint Basic

移行 :

- 従来のDell VNXからのネイティブのブロックおよびファイル移行
- SAN Copyプル : サード パーティ製アレイからの統合型ブロック移行

	ハイブリッド アレイのパフォーマンスと効率性の最適化 : <ul style="list-style-type: none"> FAST Cache FAST VP
インターフェイス プロトコル	NFSv3、NFSv4、NFSv4.1CIFS (SMB 1) 、SMB 2、SMB 3.0、SMB 3.02、SMB 3.1.1、FTPおよびSFTP、FC、iSCSIおよびVMware Virtual Volumes (VVols) 2.0
オプションのソリューション	<ul style="list-style-type: none"> AppSync Advanced Connectrix SAN Dell Data Protectionハードウェアおよびソフトウェア プラットフォーム Dell RecoverPoint Advanced Dell RP4VM PowerPath Migration Enabler PowerPath Multipathing Unity XT metro node VPLEX
注：ソフトウェア ライセンスの詳細については、セールス担当者までお問い合わせください。	

仮想化ソリューション




Dell Unityは、さまざまなソフトウェア スイートおよびバックにより、幅広いプロトコルと高度な機能をサポートしています。次にその一部を紹介します。

- OpenStack Cinderドライバー：OpenStack環境内のブロック ボリュームのプロビジョニングと管理に対応
- OpenStack Manilaドライバー：OpenStack環境内の共有ファイル システムの管理に対応
- Dell Virtual Storage Integrator (VSI) for VMware vSphere™：プロビジョニング、管理、クローニングに対応
- VMware SRM (Site Recovery Manager) 統合：フェールオーバーおよびフェールバックを管理することによりディザスター リカバリーの速度と信頼性を向上
- 仮想化API統合：VMware：VAAIとVASAHyper-V：ファイルのODX (オフロード データ転送) とオフロード コピー
- Ansible Module for Unity

電力仕様

表示されているすべての電力数値は、20°C～25°Cの周辺温度環境において、最も条件が厳しい製品構成で正常動作する最大値を示しています。

動作時の周辺温度環境が高くなると、供給されるシャーシの電力数値が増大する可能性があります。

ディスク プロセッサ エンクロージャ (DPE)				
	380F/380 	480F/480 	680F/680* 	880F/880 DPE
	DPE 25 2.5インチ SFFドライブと4つの IOモジュール	DPE 25 2.5インチ SFFドライブと4つの IOモジュール	DPE 25 2.5インチ SFFドライブと4つの IOモジュール	25 2.5インチSFFドライブと4つのIOモジュール
電源				
ACライン電圧	AC 100～240 V±10%、単相、47～63 Hz			
ACライン電流 (動作時最大電流)	AC 100 Vで最大10.07 A、 AC 200 Vで最大5.04 A	AC 100 Vで最大10.6 A、 AC 200 Vで最大5.3 A	AC 100 Vで最大11.72 A、 AC 200 Vで最大5.86 A	AC 100 Vで最大14.41 A、 AC 200 Vで最大7.2 A

電力消費量（動作時最大電力消費量）	AC 100 Vで 最大1007 VA (970.5 W) AC 200 Vで最大1007 VA (970.5 W)	AC 100 Vで 最大1060 VA (1050 W) AC 200 Vで最大1060 VA (1050 W)	AC 100 Vで 最大1172 VA (1161 W) AC 200 Vで最大1172 VA (1161 W)	AC 100 Vで 最大1440.77 VA (1411.96 W) AC 200 Vで最大1440.77 VA (1411.96 W)
力率	全負荷のときAC100/200Vで最小0.95			
発熱量（動作時最大発熱量）	AC 100 Vで最大3.49 x 10 ⁶ J/時間（3,311 Btu/時 間）。最大3.49 x 10 ⁶ J/時 間（3,311 Btu/時間） (100V)	AC 100 Vで最大3.78 x 10 ⁶ J/時間（3,581 Btu/時 間）。最大3.78 x 10 ⁶ J/時 間（3,581 Btu/時間） (200V)	AC 100 Vで最大4.18 x 10 ⁶ J/時間（3,960 Btu/時 間）。最大4.18 x 10 ⁶ J/時 間（3,960 Btu/時間） (200V)	AC 100 Vで最大5.08 x 10 ⁶ J/時間（4,818 Btu/時 間）。最大5.08 x 10 ⁶ J/時 間（4,818 Btu/時間） (200V)
突入電流	電圧を問わず、電源コードあたり45 Apk（コールド）			
起動時サージ耐量	電圧を問わず、電源コードあたり120 Apk（ホット）			
AC保護	各電源で15 Aヒューズ（単一 コード）	各電源に20 Aヒューズ（単一コード）		
AC入力タイプ（ハイライン）	IEC320-C14アプライアンスケーブル、電源領域あたり1口			
AC入力タイプ（ローライン）	IEC320-C20アプライアンスケーブル、電源領域あたり1口			IEC320-C14アプライアンスカ ブラー、電源領域あたり1口**
ライドスルー時間	最短10ミリ秒			
電流共有	電源間全負荷の±5%			
* ENERGY STAR認定は680Fのみです				
**お客様側で用意するステップアップ変圧器が必要となります				

寸法				
重量 (kg/ポンド)	空の場合：24.60/54.11	空の場合：25.90/57.10	空の場合：25.90/57.10	空の場合：25.90/57.10
垂直サイズ	2 NEMA単位	2 NEMA単位	2 NEMA単位	2 NEMA単位
高さ (cm/インチ)	8.88/3.5	8.72/3.43	8.72/3.43	8.72/3.43
幅 (cm/インチ)	44.76/17.62	44.72/17.61	44.72/17.61	44.72/17.61
奥行 (cm/インチ)	61.39/24.17	79.55/31.32	79.55/31.32	79.55/31.32
*ME：DPEとDAEの電力消費量の値は、フル装備のエンクロージャ構成（電源、ドライブ、I/Oモジュール）に基づきます。				

ディスクアレイエンクロージャ (DAE)			
	2.5インチドライブDAE x 25	2.5インチドライブDAE x 80	3.5インチドライブDAE x 15
電源			
ACライン電圧	AC 100~240 V±10%、単相、47~63 Hz		
ACライン電流（動作時最大電流）	AC 100 Vで最大4.50 A、 AC 200 Vで最大2.40 A	AC 100 Vで最大13.18 A、 AC 200 Vで最大6.59 A	AC 100 Vで最大2.90 A、 AC 200 Vで最大1.60 A

電力消費量（動作時最大電力消費量）	AC 100 Vで最大453.0 VA/432.0 W AC 200 Vで最大485.0 VA/427.0 W	AC 100 Vで最大1318.0 VA/1233.0 W AC 200 Vで最大1318.0 VA/1233.0 W	AC 100 Vで最大287.0 VA/281.0 W AC 200 Vで最大313.0 VA/277.0 W
力率	全負荷のとき100 V/200 Vで最小0.95		全負荷のとき100 V/200 Vで最小0.90
発熱量（動作時最大発熱量）	AC 100 Vで最大1.56 x 10 ⁶ J/時間 (1,474 BTU/時間) AC 200 Vで最大1.54 x 10 ⁶ J/時間 (1,457 BTU/時間)	AC 100 Vで最大4.43 x 10 ⁶ J/時間 (4,207 BTU/時間) AC 200 Vで最大4.43 x 10 ⁶ J/時間 (4,207 BTU/時間)	AC 100 Vで最大1.01 x 10 ⁶ J/時間 (959 BTU/時間) AC 200 Vで最大1.00 x 10 ⁶ J/時間 (945 BTU/時間)
突入電流	電圧を問わず、電源コードあたり30 Apk (コールド)	電圧を問わず、電源コードあたり45 Apk (コールド)	AC 240 Vで電源コードあたり最大30 A (コールド) (1/2周期)
起動時サージ耐量	電圧を問わず、電源コードあたり40 Apk (コールド)	電圧を問わず、電源コードあたり120 Apk (ホット)	電圧を問わず、電源コードあたり最大25 Apk
AC保護	各電源で15 Aヒューズ（単一コード）		各電源で10 Aヒューズ（単一コード）
AC入力タイプ	IEC320-C14アプライアンス カブラー、電源領域あたり1口		
ライドスルー時間	最短12ミリ秒	最短10ミリ秒	最短30ミリ秒
電流共有	電源間全負荷の±5%		ドループロードシェアリング
重量と寸法			
重量 (kg/ポンド)	空の場合：10.0/22.1 フル装備の場合：20.23/44.61	空の場合：11.33/25 フル装備の場合：58.9/130	空の場合：14.5/32 フル装備の場合：30.8/68
垂直サイズ	2 NEMA単位	3 NEMA単位	3 NEMA単位
高さ (cm/インチ)	8.46/3.40	13.21/5.20	13.33/5.25
幅 (cm/インチ)	44.45/17.5	44.70/17.6	44.45/17.5
奥行 (cm/インチ)	33.02/13	76.20/30	35.56/14
メモ：DPEとDAEの電力消費量の値は、フル装備のインクロージャ構成（電源、ドライブ、I/Oモジュール）に基づきます。			

キャビネット

	標準40Uキャビネット
ACライン電圧	AC 200~240 V±10%、単相、47~63 Hz
電力構成	それぞれ冗長化された1個、2個、3個、4個の電源ドメイン
電源入力数	2口、4口、6口、8口（ドメインあたり2口）
プラグタイプ	NEMA L6-30PまたはIEC309-332 P6またはIP57（オーストラリア）
入力電源容量	ドメイン x 1：4,800 VA @ AC 200 V、5,760 VA @ AC 240 V ドメイン x 2：9,600 VA @ AC 200 V、11,520 VA @ AC 240 V ドメイン x 3：14,400 VA @ AC 200 V、17,280 VA @ AC 240 V ドメイン x 4：19,200 VA @ AC 200 V、20,040 VA @ AC 240 V
AC保護	各分岐電源に30 A回路ブレーカー
40Uキャビネット寸法	高さ：75インチ（190.8 cm）、幅：24インチ（61.1 cm）、奥行：39インチ （99.2 cm）、重量（キャビネットのみ）：380ポンド（173 kg）

操作環境

Dell Unity XT 480F/480 – 880F/880モデルはASHRAE機器クラスA3に準拠し、380F/380モデルはASHRAE機器クラスA4に準拠しています。

	説明	仕様
推奨動作範囲	装置が最も確実に動作し、かつ適切なエネルギー効率でデータセンターの運用が成立する制限範囲。	露点5.5°C (59°F) で18°C~27°C (64.4°F~80.6°F)。
継続許容動作範囲	データセンター全体の効率性を高める目的でデータセンター エコ技術 (フリー クーリングなど) を導入した場合に、装置の吸気状態が推奨範囲に収まらなくても動作が継続される範囲。この範囲内であれば、時間単位の制限なしで装置が動作します。	5°C~35°C (50°F~95°F)、相対湿度20%~80%、最大露点 (最大湿球温度) 21°C (69.8°F)。高度が950m (3117フィート) を超えると、最大許容乾球温度が300m (547フィート) ごとに1°C (1°F) 低くなります。
まず起こり得ない動作環境 (エクスカージョン限定)	1日のうちの特定の時間帯や1年のうちの特定の時期に、装置の吸気状態が継続許容範囲に収まらなかった場合でも、拡張された異常範囲には収まっている状態。この範囲内であれば、年間動作時間の10%までは装置が動作します。	露点-12°Cで35°C~40°C (装置の直射日光暴露なきこと)、露点24°C (最大湿球温度) で相対湿度8%~85%。継続許容範囲 (10°C~35°C) から外れても、5°C~40°Cの範囲内であれば、年間動作時間の10%まではシステムが動作します。温度が35°C~40°C (95°F~104°F) の場合、高度が950m (3117フィート) を超えると、最大許容乾球温度が175m (319フィート) ごとに1°C (1°F) 低くなります。
例外動作範囲 (逸脱制限あり) (ASHRAE 4のみ)	1日のうちの特定の時間帯や1年のうちの特定の時期に、装置の吸気状態が継続許容範囲に収まらなかった場合でも、拡張された例外範囲には収まっている状態。この範囲内であれば、年間動作時間の1%までは装置が動作します。	露点-12°Cで40°C~45°C (装置の直射日光暴露なきこと)、露点24°C (最大湿球温度) で相対湿度8%~90%。継続許容範囲 (10°C~35°C) から外れても、5°C~45°Cの範囲内であれば、年間動作時間の1%まではシステムが動作します。温度が35°C~45°C (95°F~104°F) の場合、高度が950m (3117フィート) を超えると、最大許容乾球温度が125m (228フィート) ごとに1°C (1°F) 低くなります。
温度勾配		20°C/時 (36°F/時)
高度	稼働時の最大高度	3050m (10,000フィート)

準拠表明

Dellの情報技術機器は、電磁両立性、製品安全性、および環境規制について、それが販売されている国で現在適用されているすべての規制要件に準拠しています。

詳細な規制情報と準拠の検証については、デルの法令遵守Webサイトでご確認いただけます。http://dell.com/regulatory_compliance



Dell Unity XT ソリューションの[詳細情報](#)



Dell のエキスパートに[問い合わせ](#)